

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業

「笑顔で健やかに」さぬき美じょん講座&さぬき別嬪寄席を開催しました。

平成28年12月17日（土）、第一部は、香川県診療放射線技師会から宮本まみさん、大野友加里さん、土田紘子さんを講師にお迎えし、「よくわかる乳がん検診講座」を、第二部は、女性噺家である泡乃家ほっぷさん、春日家みっちさんのご出演による「別嬪寄席」を開催しました。



第一部の初めは、宮本さんによる「ここが知りたいマンモグラフィー」乳がんの発生部位、発生要因及びマンモグラフィーの特徴、長所短所を挙げての超音波検査との比較などのお話がありました。

中でも印象に残ったのは、毎月のセルフチェック（自己検診）に関する話で、乳がんは、自分自身で発見できる数少ないがんの一つであるということです。

次に、大野さんによる「これも知りたいPET検診」PET検査の仕組み、使用する薬剤、検査時間および検査の特徴等に関する話です。

中でも大変興味深かったのは、近年ではPETとCTを一体化した「PET-CT検査」の普及で、①より診断精度の高いPET検査が行える②一度にPETとCT撮影ができ、検査時間の短縮が可能ということです。

最後に土田さんによる「もっと知りたいMRI検査」MRI検査の説明、検査の流れ及び他の検査との違い、乳がんの症例についてお話がありました。

MRIがPETやCTと大きく違うのは、放射線ではなく磁気を利用した検査であるということです。乳がんの検査の中では、がんを見つける能力が最も高いとも言われ、主に病気の拡がり診断等に用いられます。X線を使用しないので、いわゆる放射線被ばくはなく、小さいがんを発見しやすいというメリットがありますが、検査時間、費用等が多くかかるなどのデメリットもあるため、一般の方に行う検診としては、不向きとのことです。



続いて、第二部の最初に登場されたのは、泡乃家ほっぷさんの「老人病院でのおばあちゃんのおしゃべり」という演目。二番目は、春日家みっちさんの「三道楽家である大工の熊五郎一家」の「子はかすがい鋸」という演目でした。女性お二人の軽妙な関西弁による噺で場内は大爆笑の渦の中、最後のご挨拶へと進みました。



香川県診療放射線技師会を代表して池本美智代さんから「自分の健康は自分で守る」意識を持って、一人ひとりが、自己検診と定期的な健診を心掛けることの大切さと「笑顔で健やかに」との願いを述べられ講座が終了しました。